

農業を応援します。農業研究センター・農業大学校・農業公園

多様化する消費者ニーズに応えるための農産物の品質の向上や、農業従事者の減少、高齢化に伴う作業省力化のための技術開発、新規就農者の育成など。農業はたくさん課題を抱えています。そこで、県はハード・ソフトの両面で農業をバックアップ。それぞれの施設の整備充実を図っています。

な・る・ほ・ど アグリカルチャー

スーパーカウ
年間に12,000～20,000kg以上、お乳を出す高能力乳牛のこと。普通は年に7,000kg程度ですから、まさにスーパー牛です。

建物の中に虹！
農業研究センター本館入口にあるモニュメントは、季節の変わり目に中庭の反射鏡からの光の反射で大きな虹を描きます。ここで開発された技術が県下全体に伝わり広まる波紋をイメージしているものです。

牛も幸せ！
アートボリス作品の畜舎
阿蘇町にある草地畜産研究所は、ヘネガン氏らの設計による「くまもとアートボリス」参加作品。広々とした草原にリズムカルに点在する黒色の畜舎はまるで近未来を思わせます。

さあ、おいで！
県民の皆さんにもっと気軽に農業に触れ親んでもらおうと、農業公園では、この4月から高校生以下の入園料を無料にしました。

女性にも魅力…
ここ数年、県立農業大学校の入学者の中に占める女子学生の割合が、増加しています(在学中の学生の約2割を占めています)。農業も、女性の時代！



● 農業の技術開発拠点

県農業研究センター

国内外の産地間競争に打ち勝つ力強い農業を確立するためには、より高品質・低コスト化の技術開発、作業の軽減・省力化が求められています。これらに対応するために、県はこれまで県内十三カ所に分散していた農業関係の試験研究機関を平成元年に組織的に一元化し、農業研究センターの本部を菊池郡合志町に置き、施設整備を始めました。天草農業研究所を最後に今年度中に整備が終了する予定です。

整備と同時に、先端的技術を活用した施設も充実しました。例えば、農産園芸研究所では、温度・湿度・二酸化炭素濃度・地温が制御できる「生理生態解析温室」、畜産研究所では豚の清浄化を図る「SPF施設」などがそうです。本部を空から見ると、ガラス温室群や畜舎は他県には類を見ない規模で広がっています。いかにも「農業県くまもと」を象徴した風景です。

このように充実した実験研究室から新しい品種や様々な技術が生まれました。柑橘類の「金峯」「アコボン」、いぐさ「しらぬい」、肉質が良く繁殖力に優れた豚「ヒゴサカエ301」、高品質鶏「熊本コーチン」などは、熊本ブランドとしてすでに全国に出荷されています。

バイオ技術により、花などの無病苗の大量生産や優秀な牛の受精卵を他の牛に移植することも可能になりました。このように最新技術を活用した新品種開発技術や省力化・低コスト生産のための技術は、農業改良普及所や農協を通して、一般農家で広く活用されています。

● 農業後継者の育成機関

県立農業大学校

県立農業大学校は昭和五十三年度、菊池郡合志町に設立されました。農業経営の近代化や組織化が進む中で農業後継者の育成という要請に応じて開校したわけです。以来、情報処理

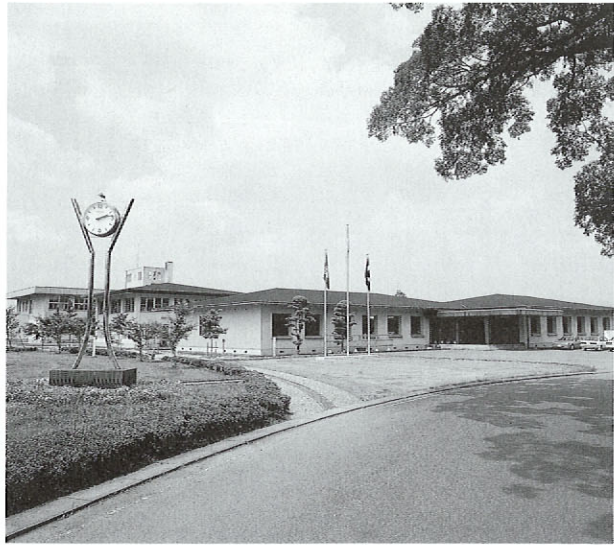
した生徒総数は千三百六十六人。これは全国の農業大学校では第二位の数しかも卒業生の約七割が就農し、県下各地で活躍しています。

● 農業との触れ合いの場

農業公園カントリーパーク

四季折々に豊かな緑に親しみながら、農業について理解してもらおうと、農業公園を整備しました。

二十三町の広大な敷地には、大小の催しが開催できるイベント広場や、百三十種、三千五百本が咲き競うバラ園遊具を備えたわんぱく広場、ウサギや山羊などと遊べるふれあい牧場などがあります。また、中庭の建築ゾーンには、大型映像などで農業を楽しく学べるアグリパビリオン、ベゴニアが年中咲いているグリーンハウス、園芸や自然について学べる知識の森などもあり、ファーマーズマーケットでは、農産加工品などを即売しています。レストランも併設されており、見て、触れて、食べて、一日中楽しむことができます。



演習のため学生一人に一台の割合でコンピュータを導入したり、バイオ実験用の機材を設置するなど、全国に先駆けた取り組みをしています。また、畜産学科二年生は今年から最新鋭の設備が整った草地畜産研究所の敷地内にある阿蘇校舎で学ぶことになりました。

平成五年三月までに卒業

農業研究センターの組織

- 管理部(本部・合志町)
- 企画経営情報部(本部・合志町)
- 農産園芸研究所(合志町)
 - 作物部矢部試験地(矢部町)
 - 野菜部八代研究室(鏡町)
- 茶業研究所(御船町)
- い業研究所(鏡町)
- 果樹研究所(松橋町)
- 畜産研究所(合志町)
 - 草地畜産研究所(阿蘇町)
- 高原農業研究所(一の宮町)
- 球磨農業研究所(上村)
- 天草農業研究所(本渡市)

農業研究センター研究成果の数

(昭和62年から平成4年までに「農業の新しい技術」として公表されたもの)

総数209件

- 作物関係 32件
- 野菜関係 40件
- 花き関係 21件
- 蚕業関係 10件
- 茶業関係 7件
- い業関係 12件
- 果樹関係 45件
- 畜産関係 39件
- 情報関係 3件

農業公園の入園者数

(平成3年8月22日～平成5年3月31日)

総入園者数	1,122,063名
高校生以上	676,012名
小・中学生	144,031名
幼児	302,020名

